

とりになったきょうりゅうのはなし ～化石が語る恐竜進化のものがたり～

3/16(土) ~ 5/12(日)

ところ **アオーゼ**

※月曜日休館（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館）。

鳥へと進化した恐竜たちの化石が日田にやって来ます！
タルボサウルスの全身骨格やティラノサウルスの頭骨、
その他触れる化石など約20点を展示します。

コラボミュージアムイベント

①恐竜博士がやってくる！
国立科学博物館 真鍋 真先生特別講演会

▶とき
3月21日(祝)
午後2時30分～4時



▶ところ
アオーゼ2階 第2・3会議室

②こどもの日クイズラリー

▶とき
5月5日(祝)
午前10時～午後4時
▶ところ 博物館 ※予約不可。



写真：ティラノサウルス頭骨標本（レプリカ）
絵：絵本『とりになったきょうりゅうのはなし』
（作：大島英太郎、発行：福音館書店）より

全て無料！



※詳細は右記二次元コード、又は市ホームページをご覧ください。



博物館 ☎ 25 3 9 4 (アオーゼ内)

週末・祝日限定企画

バーチャルアロサウルス
3Dぬりえ「恐竜の色はどんな色？」
工作「空気砲であそぶ恐竜ゲーム」
化石レプリカづくり

市長コラム

坂の上の雲を探して

60

年度末も押し迫り、災害復旧・復興に取り組んだ1年が過ぎようとしています。とは言え、未だ道半ばでもあり、新年度も引き続き復興への取組を進めてまいります。

先日、作家の堺屋太一さんが亡くなられました。訃報とともに話題になってるのが著書「平成三十年」です。平成9年に執筆され、平成30年の日本の姿を予見した本です。著者の瞳に映った未来は、まさに、現在の日本の姿や課題を映し出したものであり、その洞察力には恐れ入るところです。「年間出生数が100万人を割る、新築住宅数が160万戸から70万戸へ、晩婚化、ネットコンビニの発達、超高齢化と地方の過疎化」など、様々な予測が現実のものとなっています。この著書に対するインタビュの中で「平成30年以降に期待するものは」との問いに、人材の育成に大きな課題を感じているようでした。大雑把に言えば、単なる安定志向に走らず、面白みや多様性を認め、新たな時代に挑戦する「次世代型の若者」を育成することにあるかもしれない。

先日、パトリア日田に市内の高校1年生約80人が集まり「僕らのみらい会議」これからの働き方とは」が開催されました。この会議は、市内五つの高校から集まった26人の生徒で構成された実行委員会が企画から運営まで行いました。基調講演には、APU立命館アジア太平洋大学の出口学長を迎え「働き方」をテーマに「今後の教育は偏差値にのみこだわるのではなく、好きなことに特化する挑戦もあるのではないかな」など、次世代型の人材育成に期待を寄せる思いを話されました。その後のシンポジウムでは「成功とは」について会場の生徒も参加し、議論が交わされました。16歳の彼らが一同に集まり主体的に開催されたイベントは、日田市の未来に大きな希望を感じるものでした。「未来は自分達で切り拓くもの」。4年後、二十歳を迎える彼らの未来は、どのようなものだろうか。

諦めず果敢に挑戦することを望みたい…。

